

令和 4 年 6 月 3 日現在

機関番号：32614

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K13770

研究課題名(和文) 戦前期尾西織物業の展開と地域の産業化に関する社会経済史的研究

研究課題名(英文) Socio-economic historical research on the development of the Bisai textile industry and the industrialization of the region in prewar Japan

研究代表者

杉山 里枝(石井里枝)(Sugiyama (Ishii), Rie)

國學院大學・経済学部・教授

研究者番号：00609604

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、日本有数の毛織物産地であった愛知県尾西地方における毛織物業の展開および地域の産業化について、有力機業関係者の経営資料を用いながら、生産・流通・消費といった諸側面および関連する産業の動向もふまえ、実証的・総合的に研究を行った。途中で、新型コロナウイルス感染症拡大のなかで資料調査や資料収集を行うことが難しくなり、研究に遅れがみられることになった。しかしながら、限られた条件のなかで精力的に研究報告や論文執筆を行うことができたと考えられる。今後も、このテーマにおいて研究書の執筆を念頭に、継続して研究を行っていく予定である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究期間内において公表した論文や学会報告のなかで、今までに一般にあまり知られてこなかった日本における毛織物工業の発展の歴史について、時系列的に明らかにすることができたのではないかと考えている。また、尾西織物業の発展のあり方(綿織物から毛織物への転換)についても、明らかにすることができたと考えている。その他にも、織物のデザイン性に着目する研究を行うことで、単に「経済史」という括りのなかに限るのではなく、ファッション史、現代社会史といった分野も念頭にいった、学際的な研究をすることができたのではないかと考えている。

研究成果の概要(英文)：In this study, I researched the development of the woolen textile industry and the regional industrialization in the Bisai region of Aichi prefecture, which was one of the leading woolen-producing areas in Japan.

On the way, it became difficult to investigate and collect materials due to the spread of Covid-19, and the research was delayed. However, I think that I was able to energetically write research reports and dissertations under limited conditions.

I plan to continue research on this theme with the aim of writing research books in this field.

研究分野：経済史 経営史

キーワード：毛織物業 地域産業化 羊毛工業 社会経済史

1. 研究開始当初の背景

近代日本の産業化の動きは、紡績業や鉄道業といった近代産業の移植・導入の過程だけでなく、製糸業や織物業といった在来産業の近代的な発展のなかにも見出すことができる。

本研究で対象とする尾西地方では、他産地が19世紀末に上記のように織機の動力化による近代的技術の確立をはかったのに対し、20世紀初頭より絹綿交織物の生産から毛織物生産の転換へとシフトし、その後毛織物産地として戦前から戦後の長きにわたり、一大産地としての地位を保った。したがって、尾西機業地における織物業の展開について明らかにすることは、日本における毛織物業の発展の歴史について明らかにすることにつながる。

また、尾西織物業の歴史的展開について総合的に検討する本研究の進展により、織物業の近代化という新たなケーススタディを示しうるとともに、広範な流通・消費ネットワークの解明により、地域の産業化についての総合的な分析も可能になり、地方企業家・地域産業化研究の積み重ねに寄与し、議論の進展に貢献することが期待される。

2. 研究の目的

日本有数の毛織物業産地であった愛知県尾西地方における織物業の展開および地域の産業化について、有力製造業者であった鈴鎌毛織経営資料『鈴鎌毛織資料』(鈴木貴嗣家所蔵資料)などの一次資料も用い、生産・流通・消費といった諸側面および関連する産業の動向もふまえながら、実証的・総合的に研究を行う。また、尾西織物業に関するケーススタディを通じ、現在の中京圏における経済発展の源流としての、戦前期の地域産業化のダイナミズムについて明らかにする。

3. 研究の方法

- 尾西織物業関連資料・地域経済史に関する関連資料・文献の調査および収集
- 学会および関連する研究会への参加・研究成果報告
- 論文の執筆

4. 研究成果

(論文)

石井里枝(2018)「戦前期日本における羊毛工業の展開と企業・産地の発展」『國學院大學紀要』第56巻、1-19頁。

石井里枝(2018)「戦前期日本の毛織物工業における産地織物業の展開 尾西機業地を事例として」『國學院経済学』第66巻第2号、27-46頁。

杉山里枝(2020)「ウール織物のデザイン 日本におけるウール織物の展開と和洋の融合」島田昌和編『きものとデザイン つくり手・売り手の150年』ミネルヴァ書房 第4章。

(報告)

石井里枝 橋口勝利(2017)「尾西織物業産地の工業化と機業家 綿織から毛織への製品転換の過程を中心に」(社会経済史学会第86回(2017年度)全国大会)

石井里枝(2017)「日本における毛織工業の展開と産地織物業 尾西産地を事例として」(明治大学ビジネス・イノベーション研究所研究例会)

杉山里枝(2018)「大正期尾西地域における産地毛織物業の展開」(社会経済史学会第87回(2018年度)全国大会)

杉山里枝(2018)「昭和戦前期における尾西産地毛織物業の展開ー素材・デザインに注目してー」(経営史学会関東部会2018年度6月例会)

Rie Sugiyama(2020) “The female workforce in the textile industry of New England in the 19th century: A comparison with Japanese female workforce” (2020年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 石井里枝	4. 巻 第56巻
2. 論文標題 戦前期日本における羊毛工業の展開と企業・産地の発展	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 國學院大學紀要	6. 最初と最後の頁 1 - 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井里枝	4. 巻 第66巻第2号
2. 論文標題 戦前期日本の毛織物工業における産地織物業の展開 尾西機業地を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 國學院経済学	6. 最初と最後の頁 27 - 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 杉山里枝
2. 発表標題 The female workforce in the textile industry of New England in the 19th century: A comparison with Japanese female workforce
3. 学会等名 2020年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉山里枝
2. 発表標題 大正期尾西地域における産地毛織物業の展開
3. 学会等名 社会経済史学会第87回(2018年度)全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉山里枝
2. 発表標題 「昭和戦前期における尾西産地毛織物業の展開－素材・デザインに注目して－」
3. 学会等名 経営史学会関東部会2018年度6月例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石井里枝 橋口勝利
2. 発表標題 尾西織物産地の工業化と機業家 綿織から毛織への製品転換の過程を中心に
3. 学会等名 社会経済史学会第86回(2017年度)全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石井里枝
2. 発表標題 日本における毛織工業の展開と産地織物業 尾西産地を事例として
3. 学会等名 明治大学ビジネス・イノベーション研究所研究例会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 島田昌和編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 236
3. 書名 きものとデザイン これから出る本 つくり手・売り手の150年	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------